

授業科目名 (ナンバリングコード)	武道指導論特講演習(剣道)	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	前阪 茂樹・竹中 健太郎			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	—	受け入れ人数	—
授業の概要 及び達成目標	剣道に関する文献・資料・映像などを分析し、技術の構造についての講義及び演習を進める。その中で、剣道の持つ歴史性・文化的特性・求道性・競技性などを俯瞰しながら、剣道の持つ教育的特性を考究し、それに関する高度な専門知識・技術・指導の教育研究能力を身につけることを目標とする。				
成績評価の方法	■授業への取り組み状況(80%) ■レポート等の提出状況(20%)				
成績評価の基準	上記事項を踏まえて総合的に評価する。				
テキスト、教材 参考書	近代剣道名著大系全集(同朋舎出版) 近代剣道書選集(本の友社) 武道学研究(日本武道学会)				
履修条件・ 関連科目	内容がより専門的になるため、剣道有段者・修行者に限る。	備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	随時:506研究室(前阪)				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	前阪 茂樹	イントロダクション 剣道史の俯瞰		授業の振り返り(30分)	
2	〃	打突技術の構造論1		授業の振り返り(30分)	
3	〃	打突技術の構造論1(発表と討議)		レポート1作成(2時間)	
4	竹中 健太郎	打突技術の構造論2		授業の振り返り(30分)	
5	〃	打突技術の構造論2(発表と討議)		レポート2作成(2時間)	
6	〃	現代剣道の稽古論		授業の振り返り(30分)	
7	〃	現代剣道の稽古論(発表と討議)		レポート3作成(2時間)	
8	〃	現代剣道の文化性と競技性について		授業の振り返り(30分)	
9	〃	応用技能実践演習1		対人稽古1時間	
10	〃	応用技能実践演習2		対人稽古1時間	
11	前阪 茂樹	剣道形実践演習1		形稽古1時間	
12	〃	剣道形実践演習2		形稽古1時間	
13	〃	剣道形実践演習3		形稽古1時間	
14	〃	日本刀及び模擬刀の取り扱いに関する講義と演習		レポート作成(2時間)	
15	〃	授業の総括と討論形式での評価			